

□講義科目(専門科目)

科目名	保健・医療・福祉サービス論	2単位
担当者	近藤 克則（非常勤教員）・渡邊 良太（非常勤教員）	
テーマ	保健・医療・福祉のマネジメント課題の全体像を学び、実践と研究に活かす	
開講形態	全回ハイブリッド形式	
科目のねらい	<p><キーワード> 保健・医療・福祉 マネジメント・サイクル ミッション、ビジョン、ゴール 多職種協働 (interprofessional collaboration) 健康の社会的決定要因 (social determinants of health)</p> <p><内容の要約> 日本はいまや高齢人口割合が世界一多い国である。保健・医療・福祉サービスのいずれかを必要とする高齢者は、同時に他のサービスも必要とする。いずれかの分野で働く者は、保健・医療・福祉サービスの全体を学ばねばならない。質の高いサービスを提供するには、ミクロ（臨床）レベルの技術だけでなく、それを支えるチーム・組織、システム、政策に至るすべてのレベルにおけるマネジメントが影響する。 本講義では、保健・医療・福祉職に必要なミクロ（臨床）レベルの QOL (quality of life) やケア・マネジメントから、メゾ（チーム・事業所）レベルのマネジメント、マクロ（政策）レベルの医療・介護・社会政策的マネジメントまで取り上げて論じる。 保健医療福祉サービスの特性・固有性と、レベルや領域を超える「マネジメント」の普遍性の両面から、その基礎的な概念を学ぶ。</p> <p><学習目標> 保健・医療・福祉の各場面におけるマネジメントの必要性を理解する。 現場の課題をミクロ、メゾ、マクロの各視点から説明できる。 現場の課題に種々のマネジメント手法を応用することができる。 現場の課題の社会的・制度的背景を理解し、現場のマネジメントに役立てられる。 多職種協働の必要性、困難性を説明できる。</p>	
授業の進め方	第1回 オリエンテーションとポートフォリオ保健・医療・福祉サービスマネジメント総論(渡邊) 第2回 QOLを捉える枠組み(渡邊) 第3回 ケア・マネジメント(1)(渡邊) 第4回 ケア・マネジメント(2)(渡邊) 第5回 健康行動を促す戦略(渡邊) 第6回 チーム・組織のマネジメント(1)(渡邊) 第7回 チーム・組織のマネジメント(2)(渡邊) 第8回 ケアの質のマネジメント研究(渡邊) 第9回 保健医療福祉の半世紀とNPM(近藤) 第10回 医療政策(近藤) 第11回 超高齢社会と福祉産業のmission・chance・risk(近藤) 第12回 高齢者医療介護の課題(近藤) 第13回 保健・介護予防政策のマネジメント(1)(近藤) 第14回 保健・介護予防政策のマネジメント(2)(近藤) 第15回 研究と教育のマネジメント(近藤) ・臨床→チーム・組織→政策の順に進める予定だが、講師の都合で順番が変更になる場合がある。 ・グループワークを取り入れる場合がある。	
事前学習の内容 学習上の注意	テキストの該当部分を予習すること。	
本科目の 関連科目	「ケースメソッド演習」	
テキスト	近藤克則著：「医療・福祉マネジメントー福祉社会開発に向けて 第3版」改訂版、ミネルヴァ書房、2017	
参考文献	近藤克則：「医療クライシス」を超えて-イギリスと日本の医療・介護のゆくえ。医学書院、2012 近藤克則：健康格差社会への処方箋。医学書院、2017 近藤克則：長生きできる町。角川新書、2018 近藤克則：研究の育て方-ゴールとプロセスの「見える化」。医学書院、2018 近藤克則：健康格差社会-何が心と社会を蝕むのか。医学書院、2022 藤井博之編著：ラーニングシリーズⅠP保健・医療・福祉専門職の連携教育・実践第1巻ⅠPの基本と原則。協同医書、2018 奥原剛：実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーションー人を動かす10原則一。大修館書店、2021	
成績評価方法 と基準	毎回、ミニ・レポート、感想、質問を提出してもらいます。この提出を基に出席確認を行います。 本レポートは2000文字から3000文字程度(A4版で2枚以内)。テーマは講義中に示します。 〆切りは1月20日、nfu.jpに提出してください。 毎回の提出物・ポートフォリオ(20点)とレポート(80点)の割合で評価します。	